

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林・林業等のPR推進（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1「上越市みどりのフェスティバル」:新潟県上越市高田公園(平成22年4月29日(祝)) 2「上越エコフェスタ2010in霧ヶ岳温泉ゆあみ」:新潟県上越市浦川原区(平成22年10月17日(日)) 3「治山事業地元説明会」を開催:上越森林管理署管内各市町村
取組の背景及び必要性	森林の大切さ等については、市民の方から比較的理解されるようになっているが、間伐をはじめとする森林整備、治山事業等については理解が深まっていない状況にある。
取組の内容	1 治山事業のパネル展示やヒノキの球果を使ったストラップ作り等を実施。(クラフト等体験者数 186 人、上越署ブース来場者約 400 名) 2 スギの木片(間伐)を使ったストラップ作りや漢字クイズ等を実施。(クラフト等体験者数 15 人、上越署ブース来場者約 50 名) 4 管内関係市町村に対して治山事業の説明や PR を実施。(延べ3箇所:参加者数約50名で開催))
国有林担当部局・役割	上越森林管理署:地域の各種イベントに参画 治山事業地元説明会の開催等
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、上越市、妙高市等: 地域の各種イベントの主催等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 森林・林業等のPR推進（継続）

1 上越市緑のフェスティバル



治山事業のPRパネル

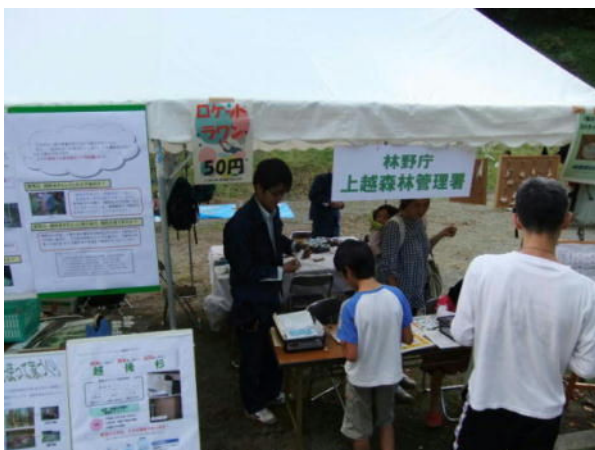


ヒノキの球果のストラップ作り



←上越森林管理署ブース前の「漢字クイズ」

2 上越エコフェスタ 2010in霧ヶ岳温泉ゆあみ



森のかけらストラップ作り



上越森林管理署ブース前の様子

平成 22 年度 実施メニュー実施結果表

取 組 名	妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング(継続)
流 域 名	上越
実施箇所及び 実施日	第 1 2 回妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング：新潟県妙高市 笹ヶ峰高原（平成 22 年 8 月 23 日(日)）
取組の背景及 び必要性	平成 1 1 年度より、標高 1,300 m に位置する笹ヶ峰高原 のトレイル(森の小道)でのランニングを通じて、森林に係る普 及啓発、準高地トレーニング適地の P R 等のため実施している。
取 組 の 内 容	第 1 2 回妙高高原笹ヶ峰トレイルランニングを、約 7 8 0 名 の参加を得て開催した。 15 km コース 一般男子 10 km コース 一般男女 5 km コース 中学生男子等 3 km コース 小学生男女、中学生女子 ウォーキング 年齢制限なし（小学生以下は保護者同伴）
国有林担当 部局・役割	上越森林管理署：主管
連携協働相 手先・役割	妙高市、妙高高原スキー連盟等：主管

【 参 考 資 料 】

取 組 名	妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング(継続)
-------	----------------------

第12回妙高高原笹ヶ峰トレイルランニング



スタートの様子



給水所の当署スタッフ

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1 「妙高高原「笹ヶ峰高原ミズバショウトレッキング in 夢見平」：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成22年5月15日（土）） 2 エコツアー妙高「夏休み親子自然教室」 in 笹ヶ峰：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成22年8月8日（日））
取組の背景及び必要性	森林の持つ癒し効果に人々の関心と期待が高まっていることから、平成19年度に「妙高笹ヶ峰癒しの森」を設定したところであり、関係機関・団体と連携を図りつつ、整備及びPR等を推進する。
取組の内容	1 「妙高笹ヶ峰癒しの森」を広く一般の人達に知ってもらえるため、ミズバショウの観察会を開催。（参会者数50名） 2 夏休み親子自然教室において、家族連れらを水生生物ちびっ子博士コース、ぶな林の不思議コースに案内。（参会者数68名）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：主催、実行委員
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市、夢見平遊歩道を守る会等： 企画、運営、共催等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 妙高笹ヶ峰癒しの森の整備（継続）

エコツアー妙高「夏休み親子自然教室」in 笹ヶ峰



水生生物ちびっ子博士コースの様子



ぶな林の不思議コースの様子

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	地域材(越後杉)の利用推進(継続)
流域名	上越
実施箇所及び実施日	<p>1「第28回国産優良材展示特別市～国有林材フェア～」:新潟県森林組合連合会上越木材共販市場(平成22年10月28日(木))</p> <p>2「ネイチャークラフト教室(森のかけらストラップ作り)」の実施。妙高市の小学校(2回)</p> <p>3「もくわくフェスタ～上越地域・越後杉まつり～」:リージョンプラザ上越インドアスタジアム(平成23年2月26日(土))</p>
取組の背景及び必要性	<p>民国が連携し、地域材である「越後杉」の利用促進を図っており、イベント等を通じてPR等に努め、地産地消や地域材の利用推進に取り組む。</p>
取組の内容	<p>1 新潟県森林組合連合会上越木材共販市場主催の特別市へ国有林のすぎ材約200立方メートルを出品し、地域材のPRに努めた。また、妙高市内の小学生125名を森林教室として、ロゼリの市売りを見学させた。</p> <p>2 ネイチャークラフト教室において、越後杉の端材を利用した森のかけらストラップ作りを通して、次世代を担う子ども達に地域材の利用推進のPRを実施。(妙高南小、斐太南小)(参加数42名)</p> <p>3 新潟県森林整備加速化・林業再生推進協議会上越地域部会主催のイベントにおいて、「森のかけらストラップ」作りを通じて越後杉のPRを実施(当署体験者数245人:イベント入場数約1,000人)</p>
国有林担当部局・役割	上越森林管理署:地域材の生産・販売・PR・森林教室の開催
連携協働相手先・役割	上越地域振興局・妙高市・森林組合等:イベント等の主催

【 参 考 資 料 】

取 組 名 地域材(越後杉)の利用推進 (継続)

1 第27回国産優良材展示特別市 (国有林材フェア)



現場口ゼリによる販売の様子



市場を見学している小学生

2 ネイチャークラフト教室 (森のかけらストラップ作り)



越後杉のPRと工作の説明



スギのかけらを磨いています。

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	信越トレイル整備等への支援（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	1 新潟県信越トレイル利用促進連絡会議：上越地域振興局（年2回程度） 2 信越トレイルガイドスキルアップ研修：上越市光ヶ原高原（平成22年10月5日（火））
取組の背景及び必要性	NPO 法人信越トレイルクラブとの協定に基づき、信越トレイルとしてのフィールドを提供するとともに、トレッキングコースの整備等について支援をするほか、関係機関・団体と連携し信越トレイルの利用推進に取り組む。
取組の内容	1 上越・十日町地域の共通の観光資源である「信越トレイル」に関し、新潟県内の団体、市、県が連携し、長野県の関係団体とも広域的なネットワークを構築することにより、自然との共生の観点に立って、積極的な利用促進を図り、もって交流人口の拡大及び地域の活性化を目指すため、各団体の自主事業の後援に関する事等について意見交換を行った。 2 信越トレイルの魅力拡大に向け、関田山脈の自然文化歴史等学ぶための研修会に職員を参加させた。（3名）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：トレッキングコース整備への支援
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、信越トレイルクラブ等：トレッキングコース整備、信越トレイルガイド養成講座等の開催

【 参 考 資 料 】

取 組 名 信越トレイル整備等への支援（継続）

○ 信越トレイルガイドスキルアップ研修



信越トレイルの歴史等の講義



現地の安全対策の実技



野鳥の説明



ブナ山の説明

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	森林環境教育の推進（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	<ol style="list-style-type: none"> 1 体験林業（国際アウトドア専門学校）：五万戸国有林外（平成22年10月） 2 提案型の森林教室：新潟県妙高市五万戸国有林外 3 森林環境教育プログラムの開発
取組の背景及び必要性	次世代を担う子供達等が森林・林業への理解を深めることが重要であり、体験林業等の森林環境教育を推進する必要がある。
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際アウトドア専門学校生対象に、NPO フォレスト工房もくろりと連携し、「森林・林業の動向」について講話を行うとともに、除間伐・下刈り作業体験などを実施。（体験者数7名、延べ2日間実施） 2 妙高市（みどりの学習推進事業）及び国立妙高青少年自然の家（遊々の森協定）と連携し、県内外の小中学生を対照に様々なメニューを企画書として提案した森林教室を開催。（26回、延べ参加者数1,118人） 3 妙高市グリーンツーリズム推進協議会や教育関係者などと連携し、地域の特徴を活かした体験プログラムの開発（妙高地域森林・林業体験交流促進対策事業）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：フィールドの提供講師の派遣、指導
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市及び関係教育機関：森林教室の共催等 国際アウトドア専門学校：体験林業の実習

【 参 考 資 料 】

取 組 名	森林環境教育の推進（継続）
-------	---------------

- 上越森林管理署の取組んでいる森林環境教育
1 体験林業



振動病について説明



チルホールの実技

- 2 提案型の森林教室



- 3 森林環境教育プログラムの開発



地域の特徴を活かし開発した体験プログラム



当署職員用モデルコースマニュアル

平成22年度 実施メニュー実施結果表

取組名	笹ヶ峰自然休養林の整備（継続）
流域名	上越
実施箇所及び実施日	<ol style="list-style-type: none"> 1 笹ヶ峰自然休養林内歩道等の整備：新潟県妙高市地蔵山国有林（平成22年度実施） 2 笹ヶ峰自然休養林管理運営協議会活動：笹ヶ峰自然休養林内 3 妙高市笹ヶ峰地域における生物多様性保全活動：笹ヶ峰自然休養林（平成22年8月31日（火））
取組の背景及び必要性	<p>森林の持つ機能や環境に対する人々の関心が高まる中、レクリエーションや自然散策等、自然休養林の入り込み者が増加しており、遊歩道や案内板の設置、利用者の安全確保に係る整備が求められている。</p>
取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 歩道整備（歩道草刈り、丸太階段工、丸太伏工）を直営事業及びボランティア団体等で連携して行った。 2 利用者の利便性や安全確保を図るべく、危険木等の現地調査及びビュースポット確保のための意見交換会を実施。 3 笹ヶ峰自然休養林を中心とした妙高高原地域の生物多様性の保全を図るため、関係団体及び地域住民等と連携・協同しつつ、特定外来種の駆除及び在来種の植栽活動の保全管理活動及びPR活動を実施。（参加者約70名）
国有林担当部局・役割	上越森林管理署：フィールドの提供、森林環境教育モデルコースの整備等
連携協働相手先・役割	上越地域振興局、妙高市及び地元ボランティア団体等

【 参 考 資 料 】

取 組 名 笹ヶ峰自然休養林の整備

1 笹ヶ峰自然休養林管理運営協議会の活動



次期間伐施業箇所 の 現地検討調査

危険木等 の 現地確認調査→



ビュースポットの現地検討調査



地域一番人気の笹ヶ峰自然休養林
パンフレット（当署作成）

